

社会科、地理歴史科、公民科における教育のイメージ

【高等学校】

地理歴史科

◎社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①日本及び世界の歴史の展開と生活・文化の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②地理や歴史に関わる諸事象について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うようにする。
- ③地理や歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深めるようにする。

公民科

◎社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済等に関わる諸課題に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②現代の諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うようにする。
- ③人間と社会の在り方に関わる課題について、よりよい社会の実現のために主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚等を深めるようにする。

【中学校】社会科

◎社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- ①我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - ②社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うようにする。
 - ③社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深めるようにする。
- 主体的に社会の形成に参画しようとしたり、資料から読み取った情報を基にして社会的事象について考察し表現したりするなどの課題解決的な学習の充実を図る。
- ◇地理的分野では、地理的技能の育成を一層重視するとともに、持続可能な社会づくりの観点から様々な課題を考察させ、歴史的分野では、グローバル化に対応する観点から世界の歴史の扱いを充実させ、公民的分野については、社会参画への手掛かりを得させるために身に付けた概念を現実の社会的事象と関連付けて理解させる指導の充実を図る。

【小学校】社会科(第3～6学年)

◎社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- ①地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して、社会生活について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - ②社会的事象の特色や相互の関連、意味について多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、思考・判断したことを適切に表現する力を養うようにする。
 - ③社会的事象について、よりよい社会を考え課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や理解を通して涵養される地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土や歴史に対する愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さの自覚等を養うようにする。
- 社会的事象から学習問題を見出し、問題解決の見通しを持って他者と協働的に追究し、追究結果を振り返るなど、問題解決的な学習の充実を図る。
- ◇世界の国々との関わりや我が国の政治の働きへの関心を高める学習、社会に見られる課題を把握して、社会の発展を考える学習の充実を図る。災害における地方公共団体の働き、地域の人々の工夫や努力、地理的・歴史的観点を踏まえた災害に関する理解、防災情報に基づく適切な行動の在り方等に関する指導の充実を図る。

【小学校】生活科(第1, 2学年)

(※現行の学習指導要領を基に作成)

- 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などとの関わりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着を持つことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然との関わりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信を持って生活することができるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

幼児教育

(※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち、特に関係のあるものを記述)

- してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりを守る必要性が分かり、決まりを作ったり守ったりするようになる。
- 遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を伝え合ったり、活用したり、情報に基づき判断しようとしたりして、情報を取捨選択などして役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用したりなどして、社会とのつながりの意識等が芽生えるようになる。
- 身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組み等を感じ取ったり気付いたりする中で、思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達などの様々な考えに触れる中で、自ら判断しようとしたり考え直したりなどして、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

補足資料：「公民としての資質・能力の基礎」、「公民としての資質・能力」について

- 社会科で育む資質・能力は「公民としての資質・能力の基礎」、地理歴史科、公民科で養われる資質・能力は「公民としての資質・能力」と考えられる。
- ・各教科等の改訂に向けた検討事項として、各教科等ごとに育む資質・能力を、(1) 知識・技能、(2) 思考力・判断力・表現力等、(3) 学びに向かう力・人間性等の三つの柱で整理するに当たり、従前の教科目標として示していた資質を次のように改めて表現し直し、三つの柱の全てが結び付いて養われるものとするのが考えられる。

公民としての資質・能力

* 高校生(18歳)が身に付け、その後も成長し続けるものとして

◇社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力 (地理歴史科、公民科)

公民としての資質・能力の基礎

◇社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎 (中学校社会科)

* これまで学習指導要領解説(小学校社会)において、「公民的資質」として説明されてきた「平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚」、「自他の人格を互いに尊重し合うこと」、「社会的義務や責任を果たそうとすること」は、公民としての資質・能力に引き継がれるものと考えられる。

(3) 社会、地理歴史、公民で養われる学びに向かう力・人間性等

① 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等

- 日本国民としての自覚(地理歴史科)、我が国の国土や歴史に対する愛情(社会科、地理歴史科)、地域社会に対する誇りと愛情(社会科)
- 人間としての在り方生き方についての自覚
- 他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚(地理歴史科)、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さの自覚(公民科)、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さの自覚(社会科)

② 社会的事象等に主体的に関わろうとする態度

- 社会的事象等について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究している
- よりよい社会を考え、学んだことを社会生活に生かそうとしている

(1) 社会、地理歴史、公民で獲得する知識・技能

- ・ 社会生活に関する理解
- ・ 我が国や世界の地理に関する理解
- ・ 我が国や世界の歴史に関する理解
- ・ 現代社会の政治、経済、国際関係に関する理解
- ・ 人間としての在り方生き方に関する理解
- ・ 社会的事象等について調べまとめる技能

(2) 社会、地理歴史、公民で育成する思考力、判断力、表現力等

- ・ 「社会的な見方・考え方」を用いて社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察する力
- ・ 「社会的な見方・考え方」を用いて社会に見られる複雑な課題を把握して、身に付けた判断基準を根拠に解決に向けて構想する力
- ・ 適切な資料・内容や表現方法を選び、社会的事象等についての自分の考えを効果的に説明したり論述したりする力
- ・ 合意形成や社会参画を視野に入れながら、社会的事象等について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論する力

「社会的な見方・考え方」

社会との関わりを意識した課題解決的な学習

- ・ 「公民としての資質・能力」、「公民としての資質・能力の基礎」は、上記(1)、(2)、(3)の資質・能力の全てが結び付くことによって育成される。そのことは、「社会的な見方・考え方」を培いながら積み重ねる「社会との関わりを意識した課題解決的な学習」を通して実現されると考えられる。
- ・ 上記の資質・能力のうち、(3)については、他教科等が育成を目指す資質・能力に共通する要素があると考えられる。その中で、「公民としての資質・能力」を社会科、地理歴史科、公民科の教科固有の目標としている理由は、「社会的な見方・考え方」を働かせた多面的・多角的な考察や深い理解と、それらを通して涵養される資質・能力を含んでいるからであると考えられることができる。

【参考】

- 教育基本法 第5条 「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」
- 学校教育法 第51条 「高等学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする」
- 1項 「義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健全な身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」

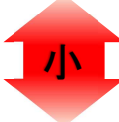
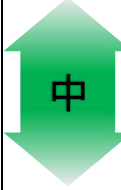
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
小学校社会	- 社会生活に関する理解 (地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史，それらと人々の生活との関連) - 社会的事象について調べまとめる技能 (社会的事象に関する情報を適切に集める・読み取る・まとめる技能)	- 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考える力，社会に見られる課題を把握し，社会への関わり方を選択・判断する力 - 思考・判断したことを適切に表現する力	- 社会的事象について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究する態度 (環境保全，自然災害防止，産業の発展，情報化の進展，先人の業績や文化遺産，我が国の政治の働き，世界の国々との関わり) - よりよい社会を考え学んだことを社会生活に生かそうとする態度 - 多角的な考察や理解を通して涵養される自覚や愛情等 (地域社会の一員としての自覚，地域社会に対する誇りと愛情，我が国の国土に対する愛情，我が国の歴史や伝統を大切にし，国を愛する心情，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚)
中学校社会	- 我が国の国土と歴史や現代社会の政治，経済，国際関係に関する理解 - 社会的事象について調べまとめる技能 (調査や諸資料から，社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能)	- 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題を把握し，解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 - 思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力	- 社会的事象について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究する態度 - よりよい社会の実現を視野に社会に関わろうとする態度 - 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等 (我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚)
地理的分野	- 我が国の国土とともに世界の諸地域における地理に関する理解 (日本や世界の地域構成，日本を含む世界の環境と生活の多様性，州単位の世界地誌，地方単位の日本地誌，身近な地域の調査) - 地図や景観写真などの諸資料から，地理に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	- 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，地域に見られる課題を把握し，複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 - 趣旨が明確になるように内容構成を考え，自分の考えを論理的に説明したり，それらを基に議論したりする力	- 日本や世界の諸地域，自分たちが生活している身近な地域に関する社会的事象について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究する態度 - 地域の地理的な諸課題の解決を視野に社会に関わろうとする態度 - 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等 (身近な地域や我が国の国土に対する愛情，世界各地的異なる多様な生活文化を尊重しようとする自覚)
歴史的分野	- 各時代の特色を踏まえた我が国の歴史(直接的な関わりや間接的な影響を及ぼす世界の歴史を含む)に関する理解 (歴史上の人物との文化遺産，伝統と文化の特色，歴史に見られる国際関係や文化交流のあらまし) - 年表などの諸資料から，歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	- 歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し，複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 - 趣旨が明確になるように内容構成を考え，自分の考えを論理的に説明したり，それらを基に議論したりする力	- 歴史上の諸事象や身近な地域の歴史，他民族の文化や生活に関する社会的事象について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究する態度 - 歴史上の諸事象から見出した課題の解決を視野に社会に関わろうとする態度 - 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等 (歴史上の人物と文化遺産を尊重することの大切さについての自覚，我が国の歴史に対する愛情や国民としての自覚，国際協調の精神)
公民的分野	- 現代社会を捉える概念的枠組みの理解 - 現代社会の政治，経済，国際関係に関する理解 (現代社会と文化，現代社会の見方・考え方，市場の働きと経済，国民の生活と政府の役割，人間の尊重と日本国憲法の基本的原則，世界平和と人類の福祉の増大) - 統計や新聞などの諸資料から，現代の社会的事象に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	- 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり，現代の諸課題について公正に判断したりする力 - 他者の主張を踏まえたり取り入れたりして思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力	- 現代の社会的事象について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究する態度 (社会生活における物事の決定の仕方，現実の政治，個人，企業及び国や地方公共団体の経済活動，現実の国際関係) - 現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとする態度 (他者と協働して考え，社会に参画しようとする) - 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等 (自国を愛しその平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚)

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
科目名は全て仮称	高等学校 地理歴史科	・日本及び世界の歴史の展開と生活・文化の地域的特色に関する理解 ・社会的事象について調べまとめる技能	・地理や歴史に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・地理や歴史に関わる諸事象について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に社会に見られる諸課題の解決に関わろうとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等
	地理総合	・地球規模の自然システムや社会・経済システムに関する理解 ・調査や地図や統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、地域等の枠組みの中で概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・地球規模の自然システムや社会・経済システムについて主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に地球的、地域的課題を意欲的に追究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等
	地理探究	・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の構造や変容に関する理解 ・調査や地図や統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、系統地理的あるいは地誌的に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の構造や変容について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に世界や国土の在り方を意欲的に探究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等
	歴史総合	・世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史についての理解 ・諸資料から歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史についての諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に関わる諸課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に世界とそこにおける日本の在り方について歴史的な観点から意欲的に追究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等
	日本史探究	・我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史、歴史を構成する諸要素・諸領域に着目した総合的な理解 ・多様な資料から我が国の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・我が国の歴史に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・我が国の歴史の展開について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に、歴史の展開についての総合的な理解を踏まえ、地域や日本、世界の在り方を意欲的に探究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等
	世界史探究	・世界の歴史の大きな枠組みと展開について、地理的条件や日本の歴史と関連付けた理解 ・諸資料から世界の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・世界の歴史に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連について、世界の歴史の大きな枠組みに関する概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・世界の歴史の大きな枠組みと展開について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に入れて、歴史の大きな枠組みと展開についての理解を踏まえ、世界や日本の在り方を意欲的に探究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
科目名は全て仮称	公民科 高等学校	・諸課題を捉え考察し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の手掛かりとなる概念や理論の理解 ・倫理的主体、政治的主体、経済的主体、法的主体、様々な情報の発信・受信主体、持続可能な社会づくりの主体に関する理解 ・社会的事象等について効果的に調べまとめる技能	・諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、社会的事象や課題について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして論拠を基に議論する力	・人間と社会の在り方に関わる事象や課題について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想し、論拠を基に説明・議論することを通して、社会に参画しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚等
	公共	・現代社会の諸課題を捉え考察し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の手掛かりとなる概念的枠組みの理解 ・倫理的、法的、政治的、経済的主体等に関する理解 ・諸資料から、倫理的、法的、政治的、経済的主体等となるために必要な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、現代の社会的事象や現実社会の諸課題の解決に向けて事実を基に多面的・多角的に考察したり、構想したりする力 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら、社会的事象や課題について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして論拠を基に議論する力	・社会の在り方や人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想し、論拠を基に説明・議論することを通して、社会に参画しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚等
	倫理	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するために必要な概念や理論の理解 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力 ・現代の倫理的諸課題を解決するために概念や理論を活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力	・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現を視野に現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想し、説明・対話することを通して、他者や社会と積極的に関わりながらよりよく生きる自己を形成しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についてのより深い自覚等
	政治・経済	・正解が一つに定まらない、現実社会の複雑な諸課題の解決に向けて探究するために必要な概念や理論の理解 ・政治や経済などに関わる諸資料から、現実社会の諸課題の解決に必要な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能	・国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる概念等を活用して、社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に解決の在り方を構想する力 ・構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを踏まえて議論し、合意形成や社会形成に向かう力	・社会の在り方に関わる事象や課題について主体的に調べ分かうとして課題を意欲的に追究する態度 ・よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想し、論拠を基に説明・議論することを通して、社会に参画しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについてのより深い自覚等

社会科，地理歴史科，公民科における思考力，判断力，表現力等の育成のイメージ

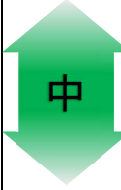
① 「社会的な見方・考え方」を用いて，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する力

・ 社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察できる			
・ 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる			
・ 社会的事象の意味，特色や相互の関連を多角的に考察できる			

② 「社会的な見方・考え方」を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想する力

・ 社会に見られる複雑な課題を把握して，身に付けた判断基準を根拠に解決に向けて構想できる			
・ 社会に見られる課題を把握して，解決に向けて学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえて選択・判断できる			
・ 社会に見られる課題を把握して，解決に向けて学習したことを基にして社会への関わり方を選択・判断できる			

③ 考察したこと，構想したことを説明する力

・ 適切な資料・内容や表現方法を選び，社会的事象等についての自分の考えを効果的に説明したり論述したりできる			
・ 主旨が明確になるように内容構成を考え，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる			
・ 根拠や理由を明確にして，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる			

④ 考察したこと，構想したことを基に議論する力

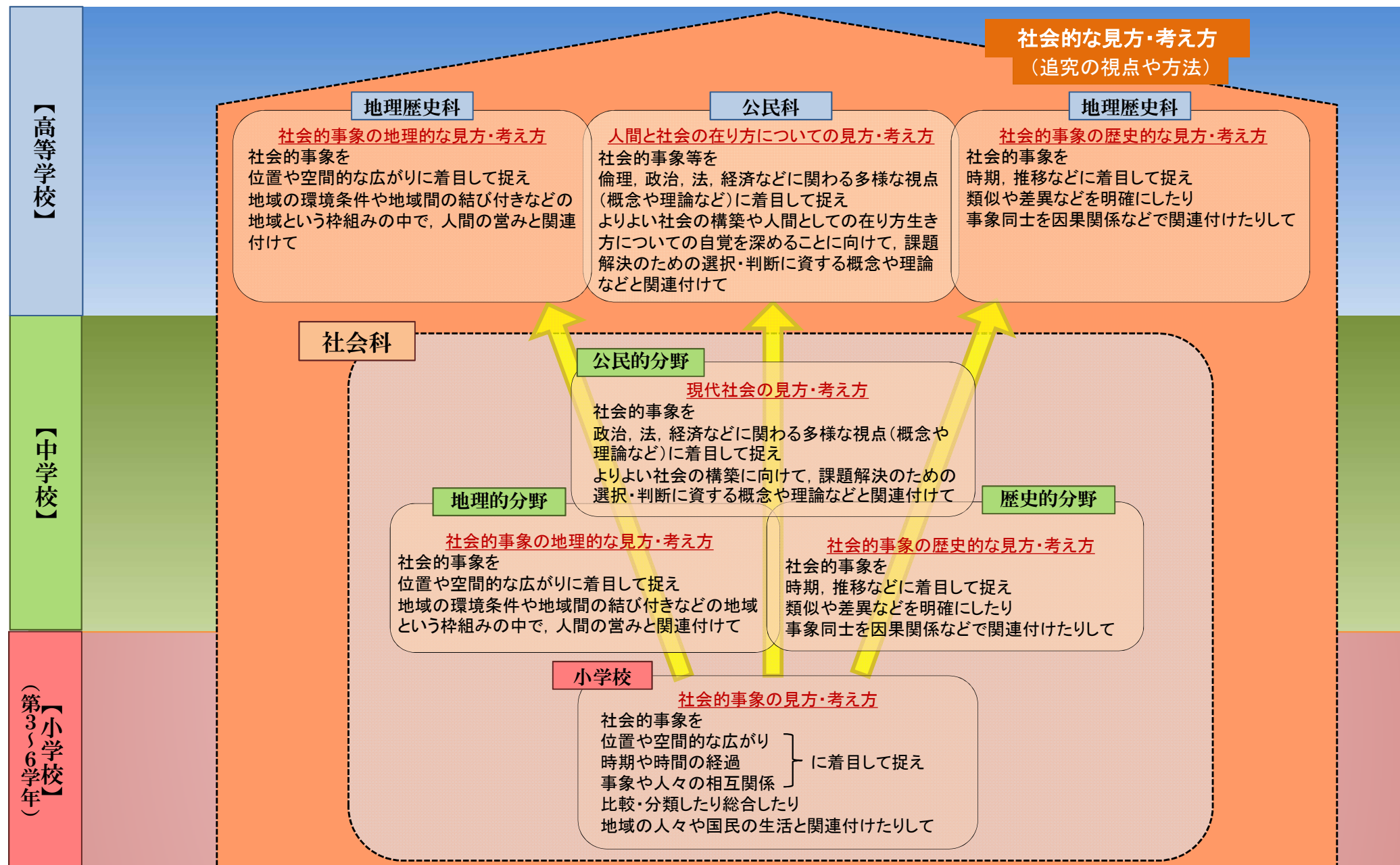
・ 合意形成や社会参画を視野に入れながら，社会的事象等について構想したことを，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論できる			
・ 他者の主張を踏まえたり取り入れたりして，社会的事象についての自分の考えを再構成しながら議論できる			
・ 他者の主張につなげたり，立場や根拠を明確にしたりして，社会的事象についての自分の考えを主張できる			

* 参考 学習の見通しを持ち追究の結果を評価する力

・ 追究の過程や結果を評価し，不十分な点を修正・改善することができる			
・ 追究の結果を振り返り，学んだことの成果等を自覚できる			
・ 学習問題（課題）を把握し，追究の見通しを持つことができる			

・「社会的な見方・考え方」は、深い学びを実現するための思考力や判断力の育成や生きて働く知識の習得に不可欠であること、主体的に学習に取り組む態度や学習を通して涵養される自覚や愛情などにも作用することなどを踏まえると、資質・能力全体の中核である。

・「社会的な見方・考え方」は、課題解決的な学習において、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想したりする際の「視点や方法」であり、小、中、高等学校と校種が上がるにつれて視点の質やそれを生かした問いの質が高まるものである。



「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージの例

※「社会的な見方・考え方」は、小・中・高等学校の各「見方・考え方」を総称する呼称である。
※「社会的な見方・考え方」は、社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする際の「視点や方法」であり、小、中、高等学校と校種が上がるにつれて視点の質やそれを生かした問いの質が高まるものである。
※「社会的な見方・考え方」は、便宜上「思考力、判断力」の欄に示しているが、深い学びを実現するための思考力や判断力の育成や生きて働く知識の習得に不可欠であること、主体的に学習に取り組む態度や学習を通して涵養される自覚や愛情などにも作用することなどを踏まえると、資質・能力全体の中核であることに留意する必要がある。また、教科、科目、分野については、便宜上並列して表している。

考えられる視点例		社会、地理歴史、公民における思考力、判断力	視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例	考察、構想した結果、獲得する知識の例
小学校社会	○位置や空間的な広がり 地理的位置、分布、地形、環境、気候、範囲、地域、構成、自然条件、社会的条件、土地利用 など ○時期や時間の経過 時代、起源、由来、背景、変化、発展、継承、維持、向上、計画、持続可能性 など ○事象や人々の相互関係 工夫、努力、願い、業績、働き、つながり、関わり、仕組み、協力、連携、対策・事業、役割、影響、多様性と共生（共に生きる） など	◎社会的現象の見方・考え方 社会的現象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。 考察 社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考察する力 構想 社会に見られる課題について、社会への関わり方を選択・判断する力	・どのように広がっているのだろう ・なぜこの場所に集まっているのだろう ・地域ごとの気候はどのような自然条件によって異なるのだろう ・いつどんな理由で始まったのだろう ・どのように変わってきたのだろう ・なぜ変わらずに続いているのだろう ・どのような工夫や努力があるのだろう ・どのようなつながりがあるのだろう ・なぜ〇〇と〇〇の協力が必要なのだろう	・いくつかの組立工場を中心に部品工場が集まり、工業が盛んな地域を形成している ・駅の周囲は交通の結節点なので人が多いため商業施設が集まっている ・国土の地理的位置や地形、台風などの自然条件によって気候は異なる ・祭りは地域の豊作や人々のまとまりへの願いから始まった ・農作業は機械化により生産効率を向上させてきた ・伝統芸能は技や道具が継承されとともに、多くの人々に受け入れられて今に至っている ・地域の安全は、関係機関の未然防止と緊急対応によって守られている ・食料生産は私たちが食生活を支える役割を果たしている ・政治には国民生活の安定と向上を図る働きがある
	○位置や分布に関わる視点 絶対的、相対的、規則性・傾向性、地域差 など ○場所に関わる視点 自然的、社会的 など ○人間と自然の相互依存関係に関わる視点 環境依存性、伝統的、改変、保全 など ○空間的相互依存作用に関わる視点 関係性、相互性 など ○地域に関わる視点 一般的共通性、地方的特殊性 など	◎社会的現象の地理的な見方・考え方 社会的現象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること。 考察 地域の特色や地域相互の関連を多面的・多角的に考察する力 構想 地域に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力	・それは、どこに位置するだろう ・それは、どのように分布しているだろう ・そこは、どのような場所だろう ・そこでの生活は、まわりの自然環境からどのような影響を受けているだろう ・そこでの生活は、まわりの自然環境にどのような影響を与えているだろう ・そこは、それ以外の場所とどのような関係を持っているだろう ・その地域は、どのような特徴があるだろう ・それは、（どこにある、どのように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となる）べきなのだろう	・地球上の地点は、絶対的、相対的に表現できること （具体例：明石市は大阪市の西にあり、その市立天文科学館は日本標準時午線上の北緯34度38分、東経135度0分にある） ・特定の現象は、地球の表面において特定の範囲に広がること （具体例：アマゾン川流域の一年中雨が多くなる地域には、常緑の密林地帯が広がっている） ・地球上の各地は、固有の性格があること （具体例：広島市の沿岸部は、低平な三角州となっている） ・人々の生活は自然の影響を受けるとともに、それを変化させること （具体例：平野の乏しい日本では、その傾斜地を段々畑や棚田にするなどして利用してきた） ・場所は相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと （具体例：多くの人口を抱えた大消費地東京の周辺では、新鮮な農産物を生産し、都市の住民に届ける近郊農業が盛んである） ・空間的な広がりには、まとまりのある固有の特徴を持つこと （具体例：中国地方の山間部では、人口減少や高齢化の進む過疎化に悩む地域が広がっている） ・地域には、地域的特色を踏まえ、よりよい姿が求められること （具体例：地震や豪雨、台風など自然災害を受けること多い日本では、被害を最小限に食い止めるため、各地の自然環境に応じた、災害に強いまちづくりを進めることが大切である）
中学校社会	○時系列に関わる視点 時期、年代 など ○諸現象の推移に関わる視点 展開、変化、継続 など ○諸現象の比較に関わる視点 類似、差異、特色 など ○事象相互のつながりに関わる視点 背景、原因、結果、影響 など	◎社会的現象の歴史的な見方・考え方 社会的現象を、時期や推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。 考察 時代の転換の様子や各時代の特色を多面的・多角的に考察する力 構想 歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力	・いつ（どこで、誰によって）おこったか ・前の時代とどのように変わったか ・どのような時代だったか ・なぜおこった（何のために行われた）か ・どのような影響を及ぼしたか	・9世紀の初め、唐に渡った最澄と空海は、帰国後に仏教の新しい宗派を伝えた ・15世紀後期の動乱を経て室町幕府の統一的支配は弱まり、各地の大名による領国の支配や、民衆による自治的な結合が進んでいた ・近世は、江戸幕府の安定した全国支配体制が形成され、産業・通商や町人文化が隆盛をみた時代であった ・自由民権運動は、士族や商工業者、有力農民など幅広い人々が参加し、一部の勢力が多数を占めた政府に対し、国民の参政権確立を求めた運動であった ・アジアの富への関心やイスラム諸国との接触（対立と文化交流）を背景としたヨーロッパ人の海外進出は、勢力拡大を図る戦国大名との関係のもと、戦国時代の推移に影響を与えた
	○現代社会を捉える視点 対立と合意、効率と公正、個人の尊重、自由、平等、選択、配分、法的安定性、多様性 など ○社会に見られる課題の解決を構想する視点 対立と合意、効率と公正、民主主義、自由・権利と責任・義務、財源の確保と配分、利便性と安全性、国際協調、持続可能性 など	◎現代社会の見方・考え方 社会的現象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。 考察 社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 構想 複数の立場や意見を踏まえて構想する力	・なぜ市場経済という仕組みがあるのか、どのような機能があるのか ・民主的な社会生活を営むために、なぜ法に基づく政治が大切なのか	・市場経済において個人や人々は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを選択すること、また、価格には、何をどれだけ生産・消費するかに関わって、人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることなどが、市場経済の基本的な考え方である ・民主的な社会における法は、国民生活の安定と福祉の向上を目指し、国民の意思のあらわれとして国民の代表によって構成される議会によって制定されるものであり、国や地方公共団体は、国民の自由と権利を侵さないようにそうした法の拘束を受けながら政治を行っている
公民的分野			・よりよい決定の仕方とはどのようなものか ・社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか ・世界平和と人類の福祉の増大のためにどのようなことができるか	・合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と決定の手続きや内容についての「公正」が必要である ・財政に関して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源の確保と望ましい配分について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察・判断することが大切である ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に対しては、経済的、技術的な協力などが大切である

「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージの例

考えられる視点例		社会、地理歴史、公民における思考力、判断力	視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例	考察、構想した結果、獲得する知識の例
地理総合(仮称)	○位置や分布に関わる視点 時間距離、時差 等質(均質、同質)性、類似 など ○場所に関わる視点 共通性、多様性 など ○人間と自然の相互依存関係に関わる視点 限界性、防災・減災 など ○空間的相互依存作用に関わる視点 移動性、圏構造(都市圏…), グローバル化 など ○地域に関わる視点 規模、格差、変容、持続可能性 など	◎社会的事象の地理的な見方・考え方 社会的な事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けると。 考察 地理に関わる諸事象を地域等の枠組みの中で多面的・多角的に考察する力 構想 持続可能な社会の構築のためにそこで生起する課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて構想する力	・それは、なぜそこに位置するだろう ・それは、なぜそのように分布しているだろう ・そこは、なぜそのような場所になったのだろう ・そこでの生活は、まわりの自然環境からなぜそのような影響を受けているのだろう ・そこでの生活は、まわりの自然環境になぜそのような影響を与えているのだろう ・そこは、それ以外の場所となぜそのような関係を持っているだろう ・その地域はなぜそのような特徴があるのだろう ・なぜ、それは(そこにある、そのように広がる、そのような場所となる、そのような自然の恩恵を受ける、そのように自然に働き掛ける、他の場所とそのような関係を持つ、そのような地域となる)べきなのだろう	・地球上の地点は、理由があり、そこに所在していること (具体例: 択捉島が日本の国土の最北端であるのは、それが他の北方領土の島々とともに、日本の固有の領土だからである) ・地球上の各地は、理由があり、多様な特徴を持つこと (具体例: 東南アジアの高温多湿な地域では通気性を高めるため、シベリアの凍土地帯では住宅内の熱を逃がすため、いずれも高床式住居が建設されている) ・人々の生活は、理由があり、自然の影響を受けるとともに、それを変化させること (具体例: サハラ砂漠の南に広がるサヘル地域では、過度な放牧や農耕、薪の採取などにより砂漠化が進んだ) ・場所は、理由があり、相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うこと (具体例: 飢饉に苦しむ発展途上国への食料援助には、人道的な側面とともに政治的混乱や周辺諸国への難民発生を防ぐといった効果も考えられる) ・空間的な広がりには、理由があり、固有の性格を持ち、変容すること (具体例: 発展途上国には、政治や経済、文化、情報などの機能が首都に一種集中し、地域格差が拡大している国がある) ・地域には、それが持つ地理的な理由に基づいて、よりよい姿が求められること (具体例: シンガポールでは、地理的に交通の要衝にあることやその多民族性を生かして、国際的な物流の拠点や金融ステーションとしての国づくりを目指している)
地理探究(仮称)	○位置や分布に関わる視点 経済距離、中心性 単一指標、複数指標、総合(指標) など ○場所に関わる視点 立地、景観、民族性 など ○人間と自然の相互依存関係に関わる視点 環境可能論、環境決定論 など ○空間的相互依存作用に関わる視点 中枢管理機能、階層性 など ○地域に関わる視点 構造、分化 など	◎社会的事象の地理的な見方・考え方 社会的な事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けると。 考察 地理に関わる諸事象を系統地理的あるいは地誌的な方法により多面的・多角的に考察する力 構想 持続可能な社会の構築のためにそこで生起する課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて構想する力	・それが、そこに位置する意味(意義、役割、影響)は何だろう ・それが、そのように分布する意味は何だろう ・そこが、そのような場所である意味は何だろう ・そこでの生活が、まわりの自然環境からそのような影響を受けているのはどういう意味があるのだろう ・そこでの生活が、まわりの自然環境にそのような影響を与えているのはどういう意味があるのだろう ・そこが、それ以外の場所とそのような関係を持っている意味は何だろう ・その地域がそのような特徴があるのはどういう意味があるのだろう ・それが、(そこにある、そのように広がる、そのような場所となる、そのような自然の恩恵を受ける、そのように自然に働き掛ける、他の場所とそのような関係を持つ、そのような地域となる)ことにどういう意味(影響、役割、意義)を持たせるべきだろう	・地球上の地点が、そこに所在するのは意味があること (具体例: 沖ノ島や南鳥島等の離島は、領土としてはもちろん、豊かな海洋資源を抱える排他的経済水域の起点としても重要であり、その存在意義が注目されている) ・地球上の各地が多様な特徴を持つことの意味があること (具体例: 大都市の都心には、行政機関や大企業の本社等が集まることで、政治や経済の中枢管理機能を担っている) ・人々の生活が自然の影響を受けるとともに、それを変化させるのは意味があること (具体例: ヨーロッパの過酷な自然環境下で生まれた休閑地や放牧地を要する農業形態は、広い用地を必要としたことから、農地転用のための森林伐採を促し、平地林の減少を加速させたこととなった) ・場所が相互に関係を持ち、影響を及ぼし合うのは意味があること (具体例: 都市周辺部の無秩序な開発は、そこでの生活環境の悪化を引き起こすとともに、都市中心部と他地域を結び付ける交通アクセス等にも悪影響を及ぼし、都市全体としての機能を低下させる) ・空間的な広がり、固有の性格を持ち、変容するのは意味があること (具体例: スイスで複数の言語が公用語となっているのは、複雑な民族間の軋轢を軽減し、多文化主義を推進しようとするねらいがある) ・地域には、それがもたらす意味(影響、役割、意義)を踏まえて、よりよい姿が求められること (具体例: 戦争により荒廃した国土を復興し、世界最先端の工業化社会、情報化社会を作り上げてきた私たちは、その経験を多くの国々々に伝え、世界の繁栄に貢献していかなければならない)
歴史総合(仮称)	○時系列に関わる視点 時期、年代、 など ○諸事象の推移に関わる視点 展開、変化、継続 など ○諸事象の比較に関わる視点 類似、差異、特色など ○事象相互のつながりに関わる視点 背景、原因、結果、影響、関係性、相互作用 など	◎社会的事象の歴史的な見方・考え方 社会的な事象を、時期や推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。 考察 現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を多面的・多角的に考察する力 構想 歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力	・何を契機に、(地域や国家、日本・世界などの)相互の関係はどのように変化したのか ・どのように転換し、後にどのような変化をもたらしたのか ・どのような(地域や国家、日本・世界などの)共通点もしくは相違点がみられ、それは後の時代に何をもたらしたのか ・どのような(地域や国家、日本・世界などの)相互関係があり、それは後に何をもたらしたのか ・歴史に見られる諸課題は、現代社会においてどのような課題と関連して現れているのか ・なぜそのような判断をしたと考えられるのか ・どのような選択が可能だったのか ・歴史を振り返り、よりよい未来の創造のために何を展望するのか	・第一次世界大戦を契機に、国際機構の成立や軍縮条約の締結に見られるように国際協調の機運が高まり、これまでとは異なる国際秩序作りが目指された。この頃日本も協調外交の方針のもと、国際秩序の安定化のために欧米諸国との合意形成に参画した。 ・20世紀前半には、マスメディアの発達などを背景として、人々の政治や経済・文化活動は拡大した。20世紀後期になると、新たな技術革新などを背景として、情報技術が個人にも普及し始め、今ではそれらを活用して人々の社会活動は地球規模に拡大することが可能になっている。 ・18～19世紀にかけて工業化や政治変動が起こり、国民国家のしくみが生まれ、その過程で人権思想が広がりはじめた。現代社会においては、人権思想の深まりがみられ、新たな人権問題が提起されている。 ・18世紀前後を通じて国際的な商業活動が活性化の中で、アジアの諸帝国が繁栄し、富を求めて進出した西欧諸国との交流が盛んに行われた。この頃日本も幕府による統制のもと、オランダ・中国・琉球などとの貿易や、朝鮮との交流を通じ情報や文化を吸収した。 ・20世紀後半の二度の石油危機以降、市場経済のグローバル化が一層進んだ。経済活動を中心とする世界の一体化の進行は、経済成長をもたらすエネルギー・資源の問題や様々な格差の問題などを人類共通の課題として提起することになった。 ・歴史上の選択・判断の積み重ねが時代を築き、今後の社会を創造する(具体例: 近代化をめぐる日本・アジア諸国の対応は異なり、その後の歴史の展開に大きな違いをもたらした)
世界史探究(仮称)	○時系列に関わる視点 時期、年代、 など ○諸事象の推移に関わる視点 展開、変化、継続、 など ○諸事象の比較に関わる視点 類似、差異、多様性、複合性、一体化・多元性 など ○事象相互のつながりに関わる視点 背景、原因、結果、影響、関係性、相互依存性 など	◎社会的事象の歴史的な見方・考え方 社会的な事象を、時期や推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。 考察 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、多面的・多角的に考察する力 構想 歴史に見られる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力	・何が、どのような背景で、どのように転換したのか ・どのような変化の中で、なぜそれは生じたのか ・どのような共通点もしくは相違点がみられ、それは社会の構築にどのような影響を及ぼしたのか ・日本や諸地域の動きは、世界のどのような変化と関係しているのか ・歴史に見られる諸課題は、現代を見る視点にどのようなつながるのか ・どのような意味や意義があり、後にどのような動きをもたらしたのか ・なぜそのような判断をしたと考えられるのか ・どのような選択が可能だったのか ・歴史を振り返り、よりよい未来の創造のために何を展望するか	・ウイグル・吐蕃・唐が減じると、その権威に従っていた諸地域にも変動の波が広がった。律令体制を導入していた東アジアの諸国はあいついで滅びたり変質したりし、ウイグルと唐の影響下にあった内陸アジアの諸勢力は、仏教文化を受け継ぎつつ、独自の民族文字を用いる新国家を建設した。ポリュネシア政権は民族自決を唱えたが、やがて、独裁を強めるスターリンは非ロシア地域でのロシア化を進めた。ソ連では、少数民族の抑圧の問題は解消されなかった。 ・15世紀末から17世紀前半、ヨーロッパの各国は独立した主権国家が互いに対立と妥協を繰り返しながら、一つの国際秩序を形成していったが、主権国家体制の態様と内実は国により異なっていた。日本で最初の国際定期遠洋航路が神戸とボンベイに結ばれたのは、19世紀末の国際的な経済、金融、政治の動向が深く関係している。 ・かつて、平和な世の中は、国家間の利害対立が軍事衝突に至らないようにする仕組みを作ることと実現されたと考えられてきたが、冷戦緩和の頃から、差別、貧困、飢饉などの構造的な問題にも着目しなげ限り、実現は難しいと考えられるようになった。 ・宗教改革は、ローマ教皇や神聖ローマ皇帝の権威を大きく揺るがし、国家が宗教を管理して権力を強化しようとする動きをもたらしたと評価できる。 ・歴史上の課題について、時代背景を踏まえて多様な選択や判断を構想することは、現代を理解し今後の社会を展望する力となる(具体例: ミュンヘン会談やヴェトナム戦争の経験は、その後の外交の在り方に影響を与えた)

「社会的な見方・考え方」を働かせたイメージの例

		考えられる視点例	社会, 地理歴史, 公民における思考力, 判断力	視点を生かした, 考察や構想に向かう「問い」の例	考察, 構想した結果, 獲得する知識の例
高等学校地理歴史	日本史探究(仮称)	○時系列に関わる視点 時期, 年代, 時代 など ○諸事象の推移に関わる視点 展開, 変化, 継続 など ○諸事象の比較に関わる視点 類似, 差異, 多様性, 地域性 など ○事象相互のつながりに関わる視点 背景, 原因, 結果, 影響, 関係性, 相互依存性 など	◎社会的事象の歴史的な見方・考え方 社会的な事象を, 時期, 推移などに着目して捉え, 類似や差異などを明確にしたり, 事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。 考察 日本 の歴史の展開, 伝統と文化の特色を多面的・多角的に考察する力 構想 歴史に見られる諸課題について, 複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力	・何が, どのような背景で, どのように転換したのか ・どのような変化の中で, なぜそれは生じたのか ・どのような共通点もしくは相違点がみられ, それは社会の構築にどのような影響を及ぼしたのか ・日本や世界の動きは, 地域の変化とどのように関係しているのか ・歴史に見られる変化や推移は, 現代を見る視点にどのようにつながるのか ・どのような意味や意義があり, 後にどのような影響をもたらしたのか(どのような解釈や説明ができるか) ・なぜそのような判断をしたと考えられるか ・どんな選択が可能だったか ・歴史を振り返り, よりよい未来の創造のために何を展望するか	・中世の社会では, 武士勢力や宗教勢力の拡大や庶民の台頭などが起こり, 権力の多様化が新しい文化や地域的な差異を生みだすなどの変化をもたらした ・18～19世紀前半の社会構造は, 幕府による政策的な対応にもかかわらず, 経済・産業の成長の中で生じた矛盾によって次第に変化を生じていった ・日本の古代国家の形成過程における背景は, 仏教文化の影響や国際関係の緊張への対応など, 東アジア共通の要素が見受けられる ・19世紀, 身近な地域の養蚕業の盛衰の背景には, 近代化の過程の日本の貿易や国内の産業構造の変化が関係していた ・戦後の日本経済の推移は, 冷戦の国際状況と密接に関係して展開しており, 現代も世界情勢との関わりを踏まえて理解することが必要である ・生類憐みの令は人命に関わるものなど一部が後世に引き継がれたことから, 戦国から平和な時代への価値観の変化を促したとも評価できる ・歴史上の課題について, 時代背景を踏まえて多様な選択や判断を構想することは, 現代を理解し今後の社会を展望する力となる (具体例: 社会の変化を背景に拡大した米騒動には, 国民意識の変化や情報化の進展などを踏まえた多様な対応の可能性が存在したが, 当時の政権の選択による対応と結果は, 後の政府の在り方に大きな影響を与えることとなった)
公共(仮称)		○人間と社会の在り方を捉える視点 幸福, 正義, 公正, 個人の尊厳, 自由, 平等, 寛容, 委任, 希少性, 機会費用, 利便性と安全性, 多様性と共通性 など ○公共的な空間に見られる課題の解決を構想する視点 幸福, 正義, 公正, 協働関係の共時性と通時性, 比較衡量, 相互承認, 適正な手続き, 民主主義, 自由・権利と責任・義務, 平等, 財源の確保と配分, 平和, 持続可能性 など	◎人間と社会の在り方についての見方・考え方 社会的な事象等を, 倫理, 政治, 法, 経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え, よりよい社会の構築や人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて, 課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。 考察 人間としての在り方生き方, 社会的な事象の意味や意義, 特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 構想 複数の立場や意見を踏まえて, 社会を形成する主体として構想する力	・社会を成立させる背景にあるものは何か ・社会に参画し, 他者と協働する倫理的主体として個人が判断するための手掛かりとなる考え方は何か ・よりよい集団, 社会の在り方とはどのようなものか ・公共的な場づくりや安全を目指した地域の活性化のために, 私たちはどのように関わり, 持続可能な社会づくりの主体となればよいのか	・今まで受け継がれてきた蓄積や先人の取組, 知恵などを踏まえ, 様々な立場や文化等を背景にして社会が成立している ・「その行為の結果である, 個人や社会全体の幸福を重視する考え方」と「その行為の動機となる人間的責務としての公正などを重視する考え方」があり, 両者ともに活用し, 自分も他者もともに納得できる解を見出そうと考えていくことが重要である ・「自立した主体とは何か」を問い, 自らを成長させるとともに, 人間は社会的な存在であることを認識し, 対話を通じてお互いを高め合うことの両者によってよりよい公共的な空間を作り出していくことが大切である ・選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用するとともに, 個人を起点として, 自立, 協働の観点から多様性を尊重して持続可能な地域づくりに向けた役割を担う主体となることが大切である
高等学校公民	倫理(仮称)	○人間としての在り方生き方を捉える視点 善悪, 生死, 徳, 愛, 共感, 幸福, 義務, 正義, 個人の尊厳, 公正, 寛容, 存在, 真理, 聖, 美 など ○現代の倫理的諸課題の解決を構想する視点 尊重, 畏敬, 創造, 保全, 自由, 権利, 責任, 自立, 協働, 勤労, 多様性, 相互承認, 平和, 国際協調, 持続可能性 など	◎人間としての在り方生き方についての見方・考え方 社会的な事象等を, 倫理, 哲学, 宗教などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え, 人間としての在り方生き方についての自覚を深めることに向けて, 課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。 考察 人間としての在り方生き方に関わる事象の意味や意義を多面的・多角的に考察する力 構想 複数の立場や意見を踏まえて構想(選択・判断)する力	・自らの人生をどう生きればよいのか, 生きることの意味は何か, 人間とは何か ・他者どう生き, 社会でどう生きていけばよいのか, 良識ある公民としていかに在るべきか, いかに生きるべきか ・人間は何を知ることができるのか, なぜ世界が存在するのか, 人間はどのような位置付けで存在するのか ・哲学や宗教や芸術が何を問い, どのような答えを見出してきたか ・自然とどのように関わり合って生きればよいのか。自然科学で知りうることと倫理学で求めることの違いはどこにあるか ・グローバル化が進む中で, 異文化と共生し多様な文化が共存する国際社会を築くために考えるべきことはどのようなことか	・価値あるよいものを求め, 正しい行いを選ぶ賢さとそれを実行する意志の強さを身に付けた徳の高い人間を目指し生きる ・自由権の保障とともに不利な立場にある人々への配慮も必要であるという考え方を手がかりとして公正・公平な社会について考え続ける ・存在の不思議への驚きから知識への深い懐疑が生じること, 正解が定めがたく問うこと自体に意味がある問いがあり, これを問い考え続けることが大切であることに気付く ・倫理で考えるのは主に「べき」であるため, 自然科学で考える「ある」とは異なるが, 観察した事実を根拠として練り上げられた理論を現実の出来事をさらに観察し修正しながら, 判断と理論を調整していくことが大切である ・自民族中心主義やオリエンタリズムなどの思考による偏見を自覚し, 異文化を尊重していくことが大切である
政治・経済(仮称)		○社会の在り方を捉える視点 個人の尊厳, 効率, 公正, 自由, 平等, 委任, 希少性, 機会費用, 選択, 配分, 分業, 交換, 利便性と安全性, 多様性と共通性 など ○社会に見られる課題の解決を構想する視点 対立, 協調, 効率, 公正, 比較衡量, 具体的な妥当性と法的安定性, 相互承認, 適正な手続き, 民主主義, 自由・権利と責任・義務, 財源の確保と配分, 平和, 持続可能性 など	◎社会の在り方についての見方・考え方 社会的な事象等を, 政治, 法, 経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え, 課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。 考察 社会的な事象の意味や意義, 相互の特色や関連を多面的・多角的に考察する力 構想 複数の立場や意見を踏まえて社会を形成する主体として構想し, 合意形成する力	・政治の意義と機能はどのようなものであるか ・経済活動の意義はどのようなものであるか ・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方とはどのようなものか ・地域社会の発展と住民生活の向上のために, 国と地方公共団体の関係の在り方や私たちの関わり方について, どのような選択・判断, 合意形成を行うか	・政治とは広義には, 個人あるいは集団の考え方や意見, 利害の対立や衝突を調整したり解決したりすることにより, 社会の秩序を維持し統合を図る機能を意味している ・経済活動は分業と交換に基づき人間生活の維持・向上のために行われるものであり, いずれの社会でも, 「何をどれだけ」, 「どのような方法で」, 「誰のために」生産すべきか, 生産された財やサービスをどのように社会の構成員に分配し, いかに消費するかという経済的選択の問題を解決しなければならないものである ・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方を考察, 追究する際には, 現代政治における個人, 政党及び圧力団体の行動, 住民運動など現実社会の事象を取り上げ, 客観的な資料を基に様々な角度から主体的に考察することが必要である ・個人の尊厳, 基本的人権の尊重を基盤に, 理論と現実との相互関連に留意しながら持続可能な地域社会となる在り方を考察, 追究することが大切である

技能の例(小・中・高等学校)

情報を収集する技能

事象等を
に考
え
て
る
課
題
解
を
決
め
る
に
必
要
な
技
能
的

- 【1】調査活動を通して
- 野外調査活動
 - ・調査の観点(数, 量, 配置等)に基づいて, 現地の様子や実物を観察し情報を集める
 - ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し, 情報を集める
 - ・地図を現地に持って行き, 現地との対応関係を観察し, 情報を集める
 - 社会調査活動
 - ・行政機関や事業者, 地域住民等を対象に聞き取り調査, アンケート調査などを行い, 情報を集める
- 【2】諸資料を通して
- 資料の種類
 - ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から, 位置関係や形状, 分布, 面積, 記載内容などの情報を集める
 - ・年表から, 出来事やその時期, 推移などの情報を集める
 - ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める
 - ・新聞, 図書や文書, 音声, 画像(動画, 静止画), 現物資料などから様々な情報を集める

- その他
 - ・模擬体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める
 - ・博物館や郷土資料館等の施設, 学校図書館や公共図書館, コンピュータなどを活用して映像, 読み物や紀行文, 旅行経験者の体験記など様々な情報を集める
 - ・コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して, 目的に応じて様々な情報を集める
- 【3】情報手段の特性や情報の正しさに留意して
 - ・資料の表題, 出典, 年代, 作成者などを確認し, その信頼性を踏まえつつ情報を集める
 - ・情報手段の特性に留意して情報を集める
 - ・情報発信者の意図, 発信過程などに留意して情報を集める

情報を読み取る技能

考
え
集
め
る
に
必
要
な
技
能
的

- 【1】情報全体の傾向性を踏まえて
- ・位置や分布, 広がり, 形状などの全体的な傾向を読み取る
 - ・量やその変化, 区分や移動などの全体的な傾向を読み取る
 - ・博物館や郷土資料館等の展示品目の配列から, 展示テーマの趣旨を読み取る
- 【2】必要な情報を選んで
- 事実を正確に読み取る
 - ・形状, 色, 数, 種類, 大きさ, 名称などに関する情報を読み取る
 - ・方位, 記号, 高さ, 区分などを読み取る(地図)
 - ・年号や時期, 前後関係などを読み取る(年表)
 - 有用な情報を選んで読み取る
 - ・学習上の課題の解決につながる情報を読み取る
 - ・諸情報の中から, 目的に応じた情報を選別して読み取る
 - 信頼できる情報について読み取る

- 【3】複数の情報を見比べたり結び付けたりして
- ・異なる情報を見比べ(時期や範囲の異なる地域の様子など)たり, 結び付け(地形条件と土地利用の様子など)たりして読み取る
 - ・同一の事象に関する異種の資料(グラフと文章など)の情報を見比べたり結び付けたりして読み取る
 - ・同種の資料における異なる表現(複数の地図, 複数のグラフ, 複数の新聞など)を見比べたり結び付けたりして読み取る
- 【4】資料の特性に留意して
- ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る
 - ・歴史資料の作成目的, 作成時期, 作成者を踏まえて読み取る
 - ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る

情報をまとめる技能

に
読
み
取
り
ま
と
め
る
に
必
要
な
技
能
的

- 【1】基礎資料として
- ・聞き取って自分のメモにまとめる
 - ・地図上にドットでまとめる
 - ・数値情報をグラフに転換する(雨温図など)
- 【2】分類・整理して
- ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる
 - ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる
 - ・位置や方位, 範囲などで整理して白地図上にまとめる
 - ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる
 - ・情報機器を用いて, デジタル化した情報を統合したり, 編集したりしてまとめる

- 【3】情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して
- ・効果的な形式でまとめる
 - ・主題に沿ってまとめる
 - ・レイアウトを工夫してまとめる
 - ・表などの数値で示された情報を地図等に変換する

「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力」の育成

社会，地理歴史，公民で獲得する 知識・技能	社会，地理歴史，公民で養う 思考力・判断力・表現力等	社会，地理歴史，公民で養われる 学びに向かう力・人間性等
○社会的事象等に関する知識 ○社会的事象等について調べまとめる技能	○「社会的な見方・考え方」を用いて，社会的事象等や社会に見られる課題について考察・構想する力 ○考察・構想したことを説明・議論する力	○主体的に学習に取り組む態度 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等

* 丸番号は便宜的に付けたもの

①収集し，読み取った情報を組み合わせて
考察・構想し，説明・議論する

②「社会的な見方・考え方」に沿って情
報を収集する，読み取る，まとめる

○社会的事象等について調べまとめる技能
(社会的事象等に関する情報を収集する・読
み取る・まとめる技能)

○社会や社会的事象等に関する知識
・社会生活に関する理解
・我が国や世界の地理に関する理解
・我が国や世界の歴史に関する理解
・現代社会に関する理解
・人間としての在り方生き方に関する理解

⑩技能を生かして主体的に調べる

○時間(歴史的)，空間(地理的)，相互関係(事象，
人，社会)等に着目して社会的事象等を見出し，
社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関
連を考察する力，社会に見られる課題の解決に
向けて構想(選択・判断)する力
○考察したことや構想したことについて，説明したり
議論したりする力

⑤理解した概念，理論を使って
考察・構想し，説明・議論する

⑥考察・構想することで理解できる

⑦「見方・考え方」を用いて概念を形成する

⑧学んだことを社会生活に生かそうとすることで
「社会に参画しようとする態度」が養われる

⑨主体的に調べ知識を獲得する

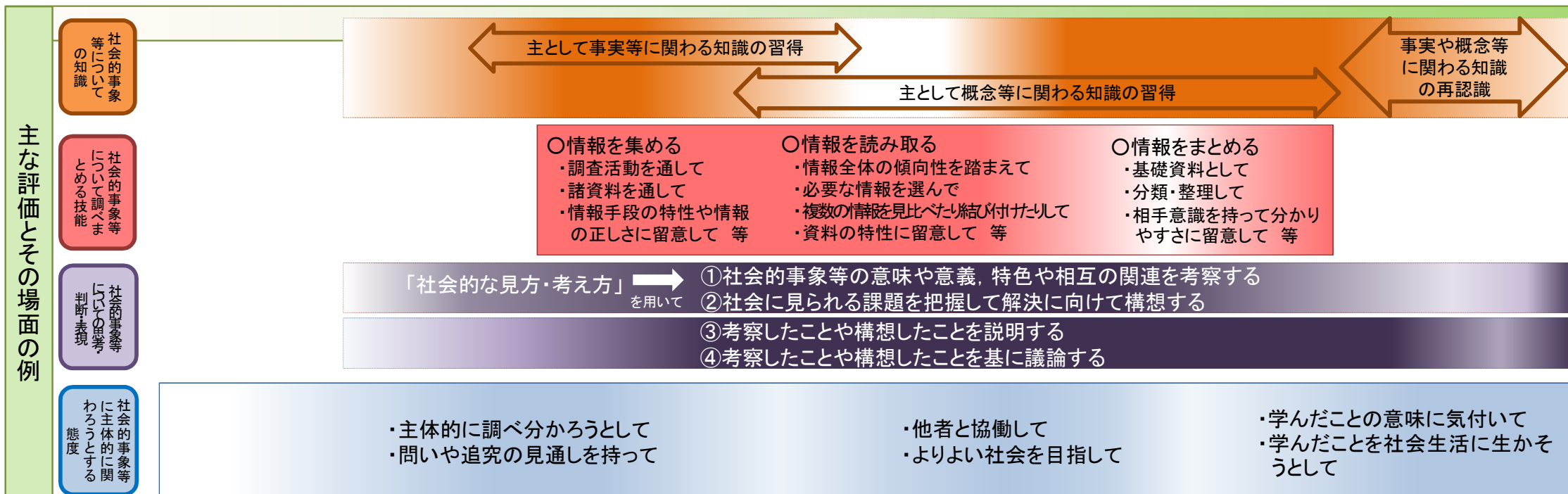
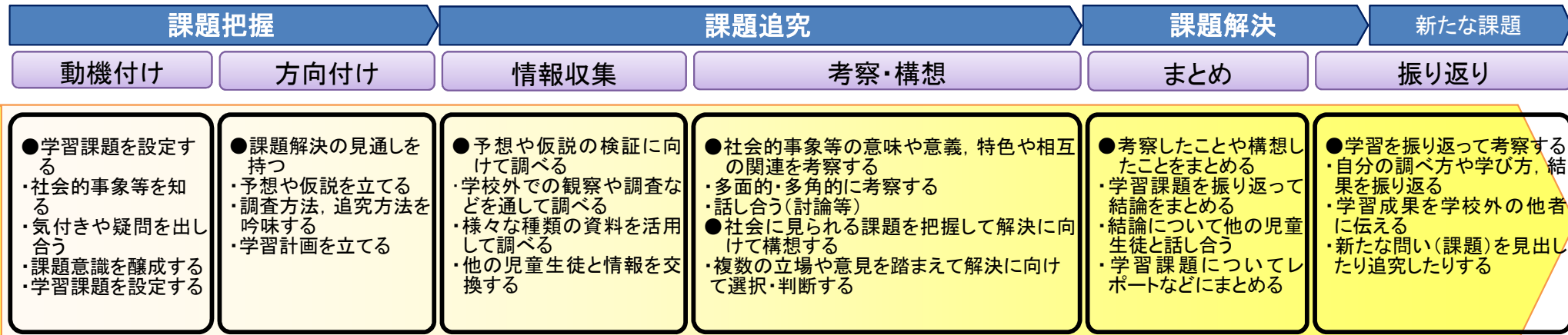
③意欲的に考察・構想し，説明・議論する

④社会に見られる課題を意欲的に解決しよ
うとすることで「よりよい社会の形成に
主体的に参画しようとする態度」が養わ
れる

○学習対象(社会的事象等)について主体的に調べ
分かつようとして課題を意欲的に追究する態度

○よりよい社会を考え，学んだことを生かそうとする態
度

○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養され
る自覚や愛情等



■学習過程全体について留意すべき点■

- ・上記の学習過程及び評価の場面は例示であり、上例に限定されるものではないこと
- ・「主体的・対話的で深い学び」を意図した、単元の構成の工夫等が望まれること
- ・社会的な事象等については、児童生徒の考えが深まるような様々な見解を提示することなどが重要であること。その際、特定の事柄を強調しすぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなど偏った取扱いにより、児童生徒が多面的・多角的に考察し、事実を客観的に捉え、公正に判断することを妨げるようなことのないよう留意すること。また、客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意すること

社会，地理歴史，公民で獲得する知識・技能	社会，地理歴史，公民で養う思考力・判断力・表現力等	社会，地理歴史，公民で養われる学びに向かう力・人間性等
社会的事象等についての知識・技能	社会的事象等についての思考・判断・表現	社会的事象等に主体的に関わろうとする態度
○社会的事象等について(～は～であると)理解し，その知識を身に付けている ・主として事実等に関わる知識(用語・語句など) ・主として概念等に関わる知識(特色，意味，理論など) ○社会的事象等について調べまとめる技能(社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能)を身に付けている ・情報全体の傾向性を踏まえて ・必要な情報を選んで ・複数の情報を見比べたり結び付けたりして ・資料の特性に留意して(例：情報を読み取る技能の場合)	○「社会的な見方・考え方」を用いて，社会的事象等を見出し，社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察している ○「社会的な見方・考え方」を用いて，社会に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想している ○考察したことや構想したことについて，説明したり議論したりしている	○学習対象(社会的事象等)について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している ・問いや追究の見通しを持って ・粘り強く(試行錯誤して) ・他者と協働して ・振り返り，学んだことの意味に気付いて ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている ・学んだことを社会生活に生かそうとして ・よりよい社会の実現を視野に ・身に付けた「見方・考え方」を新たな問いに生かして

各教科等の評価の観点のイメージ(案)

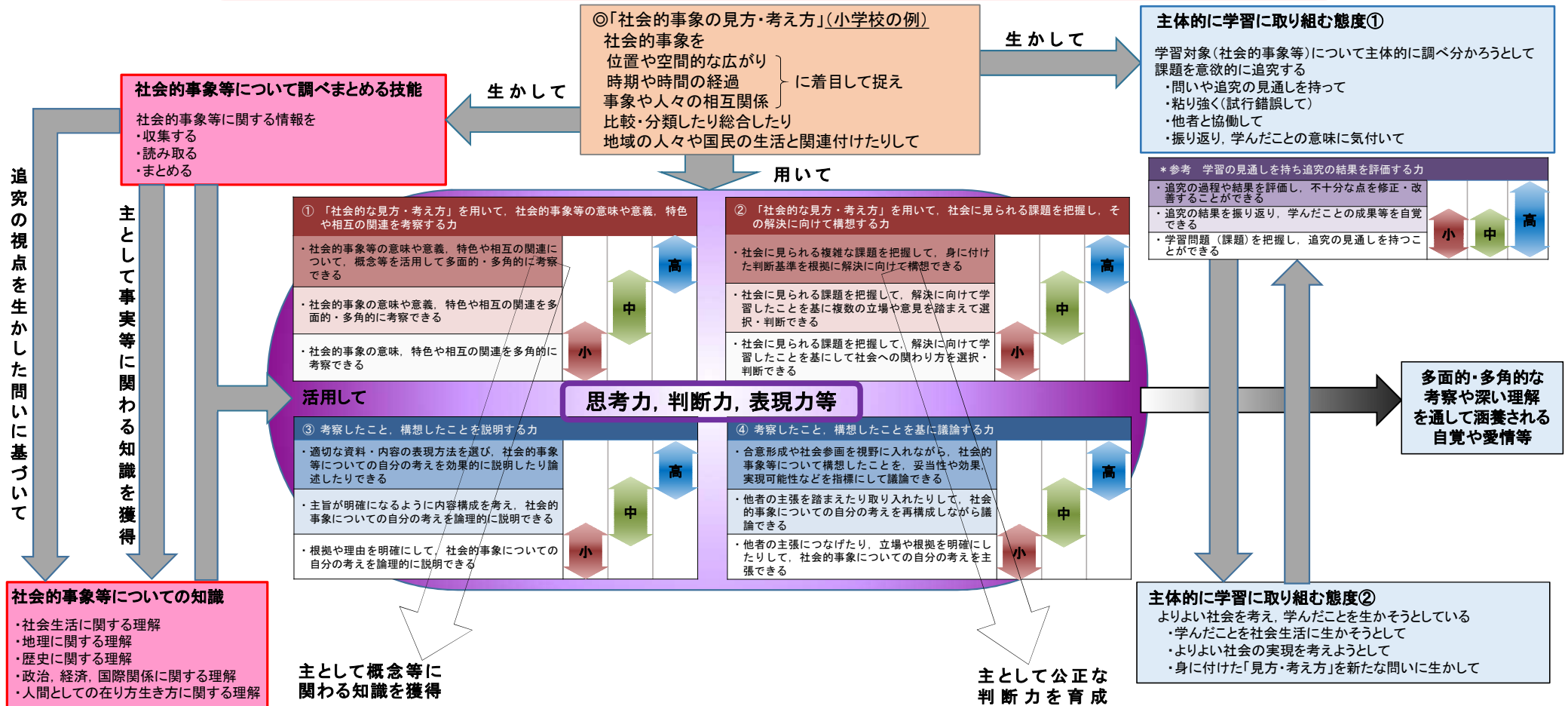
平成28年2月24日
中教審／総則・評価特別部会
【資料3－1】より

観点(例) ※実際に設定する各教科の観点は，教科の特質に対応して検討	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各観点の趣旨のイメージ(例) ※具体的な記述については，各教科の特質を踏まえて検討	(例) ○○を理解している／○○の知識を身に付けている ○○することができる／○○の技能を身に付けている	(例) 各教科の特質に応じ育まれる「見方・考え方」を用いて探究することを通じて，考えたり判断したり表現したりしている	(例) 主体的に知識・技能を身に付けたり，思考・判断・表現をしようとしていたりしている

社会科，地理歴史科，公民科における評価の観点のイメージ

観点（例） ※具体的な観点の書きぶりは、 各教科等の特質を踏まえて検討		社会的事象等についての 知識・技能	社会的事象等についての 思考・判断・表現	社会的事象等に主体的に 関わろうとする態度
各観点の趣旨の イメージ(例) ※具体的な記述については、 各教科等の特質を踏まえて検討	高等学校 公民科	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けるとともに、それらの事柄について効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代の社会的事象や人間と社会の在り方に関わる事柄の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察したり，そこで見られる課題を把握して解決に向けて構想したりして，その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄を主体的に調べ分かつようとして，課題を意欲的に追究したり探究したりするとともに，よりよい社会の実現を視野に社会に見られる諸課題の解決に関わろうとしている。
	高等学校 地理歴史科	日本及び世界の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的な事象を理解し，その知識を身に付けるとともに，それらの事象について効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理や歴史に関わる諸事象の意味や意義，特色や相互の関連について，概念等を活用して多面的・多角的に考察したり，そこで見られる課題を把握して解決に向けて構想したりして，その過程や結果を適切に表現している。	地理や歴史に関わる諸事象を主体的に調べ分かつようとして，課題を意欲的に追究したり探究したりするとともに，よりよい社会の実現を視野に社会に見られる諸課題の解決に関わろうとしている。
	中学校	我が国の国土と歴史や現代世界の政治，経済，国際関係に関して理解し，その知識を身に付けるとともに，それらの事象について効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題を把握して解決に向けて公正に選択・判断したりして，その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象を主体的に調べ分かつようとして，課題を意欲的に追究するとともに，よりよい社会の実現を視野に社会に関わろうとしている。
	小学校	社会生活に関して理解し，その知識を身に付けるとともに，社会的事象について適切に調べまとめる技能を身に付けている。	社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりして，適切に表現している。	社会的事象を主体的に調べ分かつようとして，課題を意欲的に追究するとともに，よりよい社会を考え学んだことを社会生活に生かそうとしている。

「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成(高等学校の例)



【観点別評価】

【社会的な見方・考え方についての知識・技能】

- ◎社会的な見方・考え方について(～は～であると)理解し、その知識を身に付けている。＊内容に関わる知識
- ・主として事実等に関わる知識(用語・語句を含む)
 - ・主として概念等に関わる知識(特色、意味、理論など)
- ◎社会的な見方・考え方について調べまとめる技能(社会的な見方・考え方に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能)を身に付けている。

- 収集する
- ・諸資料を通して
 - ・調査活動を通して
- 読み取る
- ・情報全体の傾向性を踏まえて
 - ・必要な情報を選んで
 - ・複数の情報を見比べたり結び付けたりして
- まとめる
- ・基礎資料として
 - ・分類・整理して

- ・情報手段の特性や情報の正しさに留意して
- ・資料の特性に留意して
- ・相手意識を持って分かりやすく留意して

【社会的な見方・考え方についての思考・判断・表現】

- 「社会的な見方・考え方」を用いて、社会的な見方・考え方の意味や意義、特色や相互の関連を考察し、説明したり議論したりしている。
- (小学校の例)
- ・社会的な見方・考え方の特色や相互の関連、意味を多角的に考えようとしている。
 - ・社会に見られる課題を把握し、社会への関わり方を選択・判断しようとしている。
 - ・思考・判断したことを適切に表現しようとしている。
- 「社会的な見方・考え方」を用いて、社会に見られる課題の解決に向けて構想し、説明したり議論したりしている。
- (中学校公民科の分野の例)
- ・社会的な見方・考え方の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察している。
 - ・現代の諸課題について公正に判断しようとしている。
 - ・他者の主張を踏まえたり取り入れたりして思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

【社会的な見方・考え方について主体的に関わろうとする態度】

- 学習対象(社会的な見方・考え方)について主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究している。
- ・課題を把握して追究の見通しを持っている。
 - ・粘り強く(試行錯誤しながら)解決しようとしている。
 - ・他者と協働して解決しようとしている。
 - ・振り返り、学んだことの意味に気付いている。
- よりよい社会を考え、学んだことを生かそうとしている。
- ・学んだことを実社会に生かそうとしている。
 - ・よりよい社会の実現を考えようとしている。
 - ・身に付けた「見方・考え方」(追究の視点等)を新たな問いに生かしている。

		内容の枠組み								
		地理的環境と人々の生活			現代社会の仕組みや働きと人々の生活			歴史と人々の生活		
対象	地 域	日 本	世 界	経 済・産 業	政 治	国 際 関 係	地 域	日 本	世 界	
小3・4	身近な地域や市の様子				市役所の働きを充実 地域の災害及び事故の防止 市役所の働きを充実			昔の道具と暮らし	再構造化	
	県の様子			地域の生産・販売		外国との関わりを充実		文化財や年中行事		
				飲料水、電気、ガスの確保 廃棄物の処理		国際交流を充実		地域の発展に尽くした先人の開発事例		
小5		国土の自然などの様子		国土や防災に関する内容を充実	自然災害の防止					
	盛んな地域	主な食糧生産物の分布			我が国の農業や水産業	輸入				
	盛んな地域	工業地域の分布			我が国の工業生産	貿易				
				放送、新聞など 情報産業と情報化した社会	福祉、防災、医療、教育	産業の構造的な変化を踏まえた改編・充実				
小6					我が国の政治の働き、日本国憲法	再構造化 選挙の扱いを充実		我が国の歴史上の主な事象	文化、宗教の伝来、戦争など	
			世界の人々の生活			国際交流・国際協力	再構造化		世界の歴史地図を活用	
地理的分野		日本の地域構成 ミクロな地図技能	世界の地域構成							
			世界各地の人々の生活と環境							
		国土や防災に関する内容を充実		世界と比べた日本の地域的特色						
			世界の諸地域	持続可能な社会づくりに係る主題						
	日本の諸地域									
	身近な地域の調査		世界の様々な地域の調査							
歴史的分野							歴史の捉え方			
					参政権の扱いを充実			古代までの日本、中世の日本、近世の日本、近代の日本と世界、現代の日本と世界	世界の歴史を充実	
公民的分野				私たちと現代社会						
		防災情報に関する扱いを充実	産業の構造的な変化	私たちと経済						
					政治参加の扱いを充実	私たちと政治				
				世界平和と人類の福祉の増大、よりよい社会を目指して						
現行学習指導要領における知識・理解に関する目標	小学校	・身近な地域や市(区、町、村)の地理的環境、県(都、道、府)の様子について理解できるようにする。 ・国土の自然などの様子、国土の環境と国民生活の関連、我が国と関係の深い国の生活を理解できるようにする。			・地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動など、地域社会を支える仕組みや働きを理解できるようにする。 ・我が国の産業の様子、産業と国民生活の関連、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方、国際社会における我が国の役割を理解できるようにする。			・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解できるようにする。 ・我が国の主な歴史事象、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解できるようにする。		
	中学校	【地理的分野】 ・我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を理解させる。 ・日本や世界の諸地域は相互に関係合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。			【公民的分野】 ・民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり及び現代の社会生活などについて理解させる。 ・国際的な相互依存関係の深まり、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させる。			【歴史的分野】 ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解させる。 ・歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させる。 ・歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させる。		